

平成23年度 学校自己評価システムシート (埼玉平成中学校)

目指す学校像 創設者山口茂先生の唱えた「為すことによって学ぶ」の建学の精神のもと、「創造・自律・親切」を校訓として、心豊かで国際感覚を身につけた人材、また多くの体験を通して、真の学力とたくましさを身につけた生徒を育成することを目標とし、個々の能力を最大限に伸ばす、中高一貫ならではのゆとりある教育機関を目指す。

重点目標 1 「S選抜クラス」・「A進学クラス」の二つの新しい教育体制の定着、発展と週6日制への移行準備を行う。
2 キャリア教育を積極的に行い、将来の夢を構築するための進路指導を充実する。
3 自主的に、安全に、安心して充実した毎日を送れる学校環境を作る。
4 中高一貫校としての6ヶ年教育の価値をますます高めるための教育環境整備に取り組む。

| 達成度 | |
|-----|--------------|
| A | ほぼ達成 (8割以上) |
| B | 概ね達成 (6割以上) |
| C | 変化の兆し (4割以上) |
| D | 不十分 (4割未満) |

| 出席者 | |
|----------|----|
| 学校関係者 | 3名 |
| 事務局(教職員) | 3名 |

| 学校自己評価 | | | | | | | 学校関係者評価 | |
|--------|---|--|---|---|--|--|--|---|
| 年度目標 | | | | 年度評価(3月17日現在) | | | 実施日 平成24年3月17日 | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
| 1 | 平成22年度より入試改革、学校改革を行い、新しい「S選抜クラス」の開設と今までの一般クラスを「A進学クラス」に改組した二つの教育体制を構築した。今年度は2年目にあたり、中高で設置している「プロジェクトチーム」を継続し、両クラスの検証と来年度以降、特に高等部進学後の計画を練った。あわせて、このプロジェクトの根底には教員の授業力向上が不可欠であり、生徒の学力向上と定着の方策についても全職員で努力、工夫した。 | <ul style="list-style-type: none"> 「S選抜クラス」「A進学クラス」の二つの教育体制の定着と発展 生徒の満足度を高める授業力の向上 学習内容の定着を図る 週6日制への移行準備 | <ul style="list-style-type: none"> 中高各教科代表のプロジェクトチームによる具体的指導内容を実施 研究授業の実施 各種研修会への参加 週末課題と翌週の確認テストの実施 特別講習、フォローアップ授業 カリキュラムの再検討 | <ul style="list-style-type: none"> 6年後の実績をあげるための具体的方策は立案されたか 授業改善が図られたか 生徒の学力定着が図られたか 生徒の学力が引き上げられたか 週6日制のメリットが生かせる工夫がされたか | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトでの会議と各教科での検討を重ね、しっかりとした数値目標と具体的指導内容が計画された。S選抜クラスでの授業や特科行事については大きな成果を収めたと言える。 引き続き、積極的に取り組んだ。授業後の研究討議を熱心に行い、各自の授業改善に取り組んだ。 年間を通して教科の進度に合わせた学力の定着が図られた。 学力下位層の引き上げと同時にトップ層も更に飛躍できるよう取り組んだ。 中高6年を通したカリキュラム作りがされた。 | <ul style="list-style-type: none"> B B A A | <ul style="list-style-type: none"> 3学年揃った段階での「S選抜クラス」と「A進学クラス」のそれぞれの特色のさらなる明確化を図る。 授業アンケートを行い、授業力向上に資する。 教科を中心とした中高合同の研究授業を行う。 放課後の特別講習、フォローアップ授業に頼らない1時間1時間を大切にする授業への取り組み。 先取り授業の再検討 | <ul style="list-style-type: none"> 先生たちが元気に生徒を全職員で引っ張ってゆく雰囲気さらなる強めたい。 進学実績を高めるためさらなる努力を期待したい。 一人ひとりの目標設定をし、達成したらほめて育てる。成績が伸びた意識を感じさせることが大切である。 細かいところをその都度注意喚起し、反省がすぐに生かせるよう指導したい。 生徒たちが目覚めるムード作りに腐心することが、大事である。 |
| 2 | 生徒の目標は、中高6年後の大学入試に偏りがちである。その先の職業選択はもとより自己の将来設計をしっかりと考えさせることが重要である。 | <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の推進 進学指導室主導の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 「キャリアデザイン」を意識した指導の充実を図る。 模擬試験の活用 | <ul style="list-style-type: none"> 自己の将来設計を考えさせられたか データを積極的に活用できたか | <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育については基礎的な職業に関する教育は行えたが、講演会等の計画的な取り組みはできなかった。 模擬試験でのデータシステムを導入し教員、生徒でデータを活用し事後の指導の強化に役立った。 | <ul style="list-style-type: none"> B A | <ul style="list-style-type: none"> 「キャリアデザイン」のための講演会、企業見学の実施。 データを積極的に活用した面談を充実し生徒個々に身近な目標を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> 講演会の取り組みを積極的に行いたい。 データをもとにした指導が充実してきている。身近な目標を設定し、達成感を味わわせたい。 |
| 3 | 少人数教育のもと、一人ひとりを面倒見よく丁寧に指導をしている。穏やかで素直な生徒が多いが、ともすると他に頼る傾向が強く、たくましさや自主性に欠ける面もある。また、昨年の大震災を受け、大規模災害発生時の対応マニュアルの策定と防災用品を備蓄した。 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の徹底 生徒の自主性を伸ばす 安心安全な学校環境を作る | <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた細やかな指導 各学校行事の充実 部活動、生徒会活動の充実 大規模震災対応の避難訓練の実施 校内交通安全の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> 細やかな指導が日々行われたか 生徒が主体性を発揮し、各行事に意欲的に取り組むことができたか 生徒が自主的に活動し、成果を上げられたか 生徒の安全を確保する方策が立案されたか | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣、服装などは良好である。 各行事とも生徒が主体的に参加し、本校らしい伝統行事として実施できた。 各部とも充実した活動をしている。特に水泳では全国大会に出場、バレー部は県ベスト8のに進出した。 1学期に災害時用の非常食、水、ブランケットを用意。中高一貫で避難訓練実施。 | <ul style="list-style-type: none"> A A A | <ul style="list-style-type: none"> 中高の歩調を合わせたきめ細やかな指導の充実。 本校の伝統行事のますますの質的な向上。 学習と部活動のさらなる両立を目指す。 個々の非常災害用防災セットの購入、緊急メールシステムの構築。 | <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた細やかな指導に感謝している。 大震災への対応もきちんとしている。が、地元毛呂山町の緊急避難所にもなっているため、食糧の備蓄等町と対応を協議しておいた方がよい。 |
| 4 | 本校の特長を生かし、生徒の能力を最大限に伸ばさせるため、24年度より中高一貫コースとして新たな教育体制をスタートすることに決定した。 | <ul style="list-style-type: none"> 中高連結した効率的な6ヶ年一貫の教育体制の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 教科、分掌間の連携を密にし、学力の向上を図る。 年間行事の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 中高連携が強化されたか 中高合同行事や6年教育の特色ある行事ができたか | <ul style="list-style-type: none"> 中高一貫コースとして、教科、分掌を一つにし、日々の教育活動に取り組めるようになった。 中高の行事予定の擦り合わせを行うことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> A | <ul style="list-style-type: none"> 中高全職員をあげて進学実績の向上を目指す。 行事や6ヶ年の取組の再検討を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 念願の6ヶ年教育のスタートである。行事等の擦り合わせを十分に行い、教育の成果を上げるよう期待している。 |